

《担当者名》各講座（研究室）教員

【概要】

病院薬局あるいは保険調剤薬局において長期実務実習を行うが、その実習以外の期間と、第6学年後期の薬学総合講義までの期間はそれぞれの配属研究室において総合薬学研究を行う。

この総合薬学研究では、研究志向、成績も反映させて学生を実験研究コースと調査研究コースの2コースに分けて行う。

実験研究コースでは、各研究室の研究テーマに関連した課題について実際に実験研究を行うことにより科学的技能、態度を身につけるとともに、創造的研究活動の重要性を理解する。

調査研究コースでは、各教室の研究に関連したテーマなどの様々な課題についての調査研究を行うことにより、科学者としての薬剤師として現場において職務を全うするために必要な知識と調査を行う技能を修得する。

【学修目標】

将来、研究活動に参画できるようになるために、必要な基本的知識および態度を修得する。

将来、研究を自ら実施できるようになるために、研究課題の達成までの研究プロセスを体験し、研究活動に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。

研究活動を通して、創造の喜びと新しいことを発見する研究の醍醐味を知り、感動する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ） 180	1．実験研究コース 2．調査研究コース	実験研究コース：各教室の研究テーマに関連した研究課題の実験研究を通して、新しいことを発見し、科学的根拠に基づいて問題点を解決することができる。 調査研究コース：薬学の知識を総合的に理解し、医療社会に貢献するために、様々な課題の調査研究を通して、問題点を自ら発見し解決することができる。	各研究室担当者

【評価方法】

第6学年前期にポスター発表（全員、個人名）を中心とした発表会を行い、活動状況、目標到達度、発表内容、報告書などを総合的に評価する。（100％）

【教科書】

特になし

【関連するモデルコアカリキュラムの到達目標】

A ヒューマニズムについて学ぶ

(2)医療の担い手としてのこころ構え

【研究活動に求められるこころ構え】

1)研究に必要な独創的考え方、能力を醸成する。

2)研究者に求められる自立した態度を身につける。（態度）

3)他の研究者の意見を理解し、討論する能力を身につける。（態度）

E 卒業実習教育

E1 総合薬学研究

(1)研究活動に求められる態度

1)課題を理解しその達成に向けて積極的に取り組む。（態度）

2)問題点を自ら進んで解決しようと努力する。（態度）

3)課題の達成を目指して論理的思考を行い、生涯にわたって醸成する。（態度）

4)課題達成のために他者の意見を理解し討論する能力を醸成する。（態度）

5)研究活動に関わる諸規則を遵守し倫理に配慮して研究に取り組む。（態度）

6)環境に配慮して、研究に取り組む。（態度）

7)チームの一員としてのルールやマナーを守る。（態度）

(2)研究活動を学ぶ

1)課題に関連するこれまでの研究成果を調査し評価できる。（知識・技能）

2)課題に関連するこれまでの発表論文を読解できる。

3)課題達成のために解決すべき問題点を抽出できる。（技能）

4)実験計画を立案できる。（知識・技能）

- 5) 実験系を組み、実験を実施できる。(技能)
- 6) 実験に用いる薬品、器具、機器を正しく取扱い、管理する。(技能・態度)
- 7) 研究活動中に生じたトラブルを指導者に報告する。(態度)
- 8) 研究の各プロセスを正確に記録する。(技能・態度)
- 9) 研究の結果をまとめることができる。(技能)
- 10) 研究の結果を考察し評価できる。(技能)
- 11) 研究の成果を発表し適切に質疑応答ができる。(技能・態度)
- 12) 研究の成果を報告書や論文としてまとめることができる。(技能)
- 13) 自らの研究成果に基づいて、次の研究課題を提案する。(知識・技能)

(3) 未知との遭遇

- 1) 研究課題を通して現象を的確に捉える観察眼を養う。(知識・技能・態度)
- 2) 新規な課題に常にチャレンジする研究者としての創造的精神を醸成する。(態度)
- 3) 科学の発展におけるセレンディピティについて説明できる。(知識・態度)

E2 総合薬学演習

以下に例示した医薬品から選択し探索、合成、構造活性相関、薬理作用、臨床応用、体内動態、副作用、相互作用などについて調査し発表する。

- 1) 心臓・血管系疾患治療薬(ジルチアゼム、カプトプリル、ロサルタン、プロプラノロールなど)
- 2) 消化器系疾患治療薬(シメチジン、オメプラゾールなど)
- 3) 神経疾患治療薬(ジアゼパム、レボドパ、ドネベジルなど)
- 4) 代謝疾患治療薬(インスリン、プラバスタチンなど)
- 5) 抗炎症薬(アスピリン、インドメタシンなど)
- 6) 免疫抑制薬(タクロリムスなど)
- 7) 抗悪性腫瘍薬(シスプラチン、ドセタキセルなど)
- 8) 抗菌薬(レボフロキサシンなど)
- 9) 抗ウイルス薬(ジドブジン、インターフェロンなど)

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

2. 最新の医療分野の進展を理解し、それを遂行できる薬学の基本的知識・技術を修得している。
3. 医薬品に関する基礎および応用の科学的知識を修得している。